

R8年度 年間指導計画				鹿島山北高等学校			
教科	公民	科目	公共	履修区分	必修	使用教科書	東京書籍『公共(901)』
添削指導回数	6	面接指導回数	2	単位認定試験回数	1	副教材等	NHK高校講座教科書DVD

学習の目標

①現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
②現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
③よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される。現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する。
面接指導	●視聴票：面接指導の出席と合わせ、計2時間となるように提出する。 ※視聴票による減免は原則1時間（6割減免）まで。
単位認定試験	添削指導、面接指導（視聴票を含む）を全て修了後に受験。

単位修得（認定）に当たっての基準

評価方法 各单元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名（教科書ページ）	添削指導	面接指導		単位認定 試験	観点別評価			
	No.	視聴票			観点	評価規準		
		NHK高校講座	教科書DVD					
p. 10-35 青年期に生きる私たち 他者とともに生きる人間としてのあり方 公共的な空間における倫理	1	1, 2, 3, 4	P. 10-11 P. 14-15 P. 22-25 P. 36-37 P. 40-41 P. 44-45 P. 60-61 P. 74-77	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	青年期に生きる自己形成の課題、現代社会の特質やキャリア開発の意義、シティズンシップの意義について理解する。また、目的論と義務論、帰結主義による功利主義と徳倫理学の考え方、道徳法則や自律の意味、公正としての正義の考え方についてを理解する。		
P. 36-55 公共的な空間における基本的原理	2				思考・判断・表現	人間の活動の急速な拡大がもたらしている環境問題にかかわる思想や環境倫理について理解し、功利主義と義務論の考え方を手がかりに、環境についての倫理的課題について、考察する。		
					主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		
					知識・技能	社会における利害の調整のしくみとしての市場の働きと国家の役割、及びそれぞれの課題について理解する。国家による調整は、立憲主義に基づく手続きによることを理解する。社会における意見や利害の調整、意思決定における民主主義の意義、それらの課題について理解する。		
p. 58-85 民主政治と私たち	3				思考・判断・表現	公共的な空間における基本的原理の一つである、人間の尊厳と平等について、その意義、歴史的展開、現代の動向について理解し、課題について考察する。		
					主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		
					知識・技能	政治の働き、民主主義を理解し、現代の民主主義の課題を考察する。三権分立と国会の地位、国会の役割と権限、国会の構成と運営を理解する。内閣と国会との関係、内閣の役割と行政組織、行政国家化と行政改革を理解する。民主政治と選挙制度、日本の選挙制度と課題、世論形成や利益集団を理解する。		
p. 86-115 法の働きと私たち	4				思考・判断・表現	地方自治、地方財政の原則やしくみ、住民参加の形態と意義を理解し、地方自治の課題を考察する。有権者の意思をよりよく反映するという視点から、日本の選挙制度の課題について考察する。		
					主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		
		知識・技能	法の特徴・役割・区分とそれぞれの特色、法案の作成と提出、民事裁判と刑事裁判、裁判における法の適用、法の解釈の意味を理解する。契約自由の原則、契約の種類、契約自由の原則の修正、契約の種類とその特色、契約自由の修正を理解する。消費者契約の特色、消費者法制と消費者の権利、消費者主権と消費者市民社会形成などについて理解する。					
p. 116-151 経済社会で生きる私たち	5	6, 7, 8, 9	P. 88-89 P. 96-97 P. 102-103 P. 110-111 P. 114-115 P. 120-123 P. 128-131 P. 134-137 P. 166-169		思考・判断・表現	司法権とその独立、裁判制度のしくみ、違憲審査権について理解し、刑事司法の課題や司法への民意の反映の意義と課題について考察する。		
					主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		
					知識・技能	経済活動の意義、経済主体と経済循環、グローバル化のなかの経済活動の動きを理解する。市場経済における価格の働き、政府の役割、景気変動と物価を理解する。貨幣の役割と通貨制度、直接金融と間接金融、金融システム、金融市場と金利の動きを理解する。		
p. 164-217 国際社会のなかで生きる私たち 持続可能な社会づくりに参画するために	6				思考・判断・表現	財政問題について、資料を読み取りながら問題解決の方向性を考察する。社会保障の意義と歴史、日本の社会保障制度について理解する。雇用・労働やそれに関わる権利を理解し、現代のさまざまな労働問題や労働環境の改善を考察する。		
					主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。		
					知識・技能	国際社会の成立や特色、国際法の意義と役割、国際社会の主体の変化、課題を理解する。核兵器について世界の動きを理解する。為替のしくみ、国際通貨制度、国際金融の動向を理解する。現在の国際経済秩序を理解する。		
							思考・判断・表現	平和主義と日本国憲法第9条、自衛隊と日米安全保障、戦後日本の防衛政策を理解し、人権保護のための他国や国際機関の武力介入について考察する。
							主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
				知識・技能			よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。	

教科	公民	科目	倫理	履修区分	必修修	使用教科書	東京書籍『倫理（701）』
添削指導回数	6	面接指導回数	2	単位認定試験回数	1	副教材等	NHK高校講座教科書DVD

学習の目標

① <「知識及び技能」に関わる目標> 古今東西の幅広い知的蓄積を通して、現代の諸課題を捉え、より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付ける。

② <「思考力、判断力、表現力等」に関わる目標> 自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や、現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりする力を養う。

③ <「学びに向かう力、人間性等」に関わる目標> 人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり、他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する。
面接指導	●視聴票・面接指導の出席と合わせ、計2時間となるように提出する。 ※視聴票による減免は原則1時間（6割減免）まで。
単位認定試験	添削指導、面接指導（視聴票を含む）を全て修了後に受験。

単位修得（認定）に当たっての基準

評価方法 各単元ごとに3観点で評価（A・B・C）し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名（教科書ページ）	添削指導 No.	面接指導		単位認定 試験	観点別評価	
		指導案			観点	評価規準
		NHK高校講座	教科書DVD			
p. 6～42 人間の心のあり方 哲学すること ギリシャの思想	1	2, 5, 12, 29	P. 10-11 P. 31-33 P. 58-64 P. 100-103	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、ギリシャの思想、キリスト教、イスラーム、仏教、中国の思想、人生における宗教や芸術の意義について理解している。「哲学」の意味や、「哲学すること」の意義について理解している。
	思考・判断・表現				幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、ギリシャの思想、キリスト教、イスラーム、仏教、中国の思想、宗教や芸術に見られるさまざまな人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。「哲学」の意味や、「哲学すること」の意義について、多面的・多角的に考察し、自己の在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方の考察に関連付けて思索を深めている。	
	主体的に学習に取り組む態度				現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。	
p. 43～81 キリスト教 イスラーム 仏教 中国の思想	2				知識・技能	幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目し、キリスト教やイスラーム、仏教における人生観・倫理観・世界観について理解している。中国の伝統思想に見られる人生観・倫理観・世界観について理解している。
	思考・判断・表現				幸福、愛、徳、善、正義、義務、真理、存在などに着目して、キリスト教やイスラーム、仏教における人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察し、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。古代からの中国の伝統思想に見られる人生観・倫理観・世界観について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。	
	主体的に学習に取り組む態度				現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。	
p. 82～115 近代と人間尊重の精神 近代思想の展開 人格の尊厳と人倫の思想 社会変革の思想	3	知識・技能	西洋における近代化の特徴について、現代に通じる人間尊重の精神という観点から、歴史的背景とともに理解している。幸福、善、自由、正義、義務、真理、存在などに着目して、現代の価値観に影響を与えた経験論や合理論、社会契約説、啓蒙主義に関する諸思想の特徴について理解している。カントとヘーゲルの思想に見られる、近代における人間と近代社会の在り方について理解している。、現代の価値観に影響を与えた近代社会変革の思想について、歴史的背景とともに理解している。			
	思考・判断・表現	西洋における近代化の特徴について、現代に通じる人間尊重の精神という観点から、歴史的背景をふまえて多面的・多角的に考察している。現代の価値観に影響を与えた経験論や合理論、社会契約説、啓蒙主義に関する諸思想について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。カントとヘーゲルの思想に見られる、近代における人間と近代社会の在り方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。				
	主体的に学習に取り組む態度	現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。				
p. 116～147 理性への疑念 人間観・言語観の問いなおし 他者・自然とのかわり	4	知識・技能	キルケゴール、ニーチェ、フロイトの思想について、近代の理性中心のあり方への批判という観点から理解している。20世紀以降の諸思想について、従来の人間観や世界観、言語観がどのように問いなおされたかという観点から理解している。さまざまな人物や宗教が他者や自然とのかかわりについてどのように考えたか理解している。			
	思考・判断・表現	キルケゴール、ニーチェ、フロイトの思想を手がかりに、近代の人間観や世界観がどのように変容したかについて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。20世紀以降の諸思想を手がかりに、従来の人間観や世界観、言語観の問いなおしについて多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。				
	主体的に学習に取り組む態度	現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。				
p. 148～205 国際社会に生きる日本人としての自覚	5	18, 19, 37, 42	P. 116-119 P. 121-124 P. 183-187		知識・技能	古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想に着目して、日本の風土や伝統、外来思想の受容などを基に、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索するための手がかりとなる日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について、自己とのかかわりにおいて理解している。
	思考・判断・表現	古来の日本人の心情と考え方や日本の先哲の思想を手がかりとして、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察することを通じて、人間としての在り方生き方や社会の在り方、世界の在り方について思索を深めている。				
	主体的に学習に取り組む態度	現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。				
p. 206～235 現代の諸課題と倫理	6	知識・技能	第1編で学習した事項を基盤として、さまざまな現代事象に関する概念や現代の諸問題に着目して、その意義について多面的・多角的に考察し、公正に判断するために必要な事項を理解している。			
	思考・判断・表現	第1編で学習した事項を基盤として、生命倫理に関する概念や現代の諸問題に着目して、その意義について多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述している。				
	主体的に学習に取り組む態度	現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して論理的に思考し、思索を深め、説明したり対話したりすることができる。				

教科	公民	科目	政治・経済	履修区分	必修	使用教科書	東京書籍『政治・経済(701)』
添削指導回数	6	面接指導回数	2	単位認定試験回数	1	副教材等	NHK高校講座教科書DVD

学習の目標

①現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手がかりとなる概念とともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。
②現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
③よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して満ちられる。現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

学習に取り組む際の注意事項

添削指導	提出期間に間に合うように提出する。
面接指導	●視聴票・面接指導の出席と合わせ、計2時間となるように提出する。 ※視聴票による減免は原則1時間(6割減免)まで
単位認定試験	添削指導、面接指導(視聴票を含む)を全て修了後に受験。

単位修得(認定)に当たっての基準

【評価方法】各単元ごとに3観点で評価(A・B・C)し、すべての学習内容修了後に総合的に判断する。

学習内容・計画

単元名（教科書ページ）	添削指導 No.	面接指導		単位認定 試験	観点別評価	
		視聴票			観点	評価規準
		NHK高校講座	教科書DVD			
p. 6～47、p. 255～259 民主政治の基本原則 日本国憲法の基本原則	1	6, 7, 8, 10	P. 15-17 P. 48-50 P. 62-65 P. 70-73	全課程から問題を選出し、出題する。	知識・技能	民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化、世界のおもな政治体制について理解している。明治憲法と比べた日本国憲法の特徴や憲法改正の議論、基本的人権の保障と「公共の福祉」との関係、平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解している。
p. 48～65、p. 255～259 日本の政治機構	思考・判断・表現				法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要か多面的・多角的に考察し、表現している。・近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているか多面的・多角的に考察し、表現している。	
	主体的に学習に取り組む態度				現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。	
	知識・技能				国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解している。	
	思考・判断・表現				国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にはどのような課題があり、どうすればそれを解決できるか多面的・多角的に考察し、表現している。	
	主体的に学習に取り組む態度				現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。	
	知識・技能				政党政治と利益集団、選挙の意義としき、選挙をめぐる諸問題、世論形成におけるマスメディアの役割について理解している。	
p. 66～79 現代政治の特質と課題	思考・判断・表現				主権者である自分はどうのように政治参加をしていけばよいか、具体的な政策を通して多面的・多角的に考察し、表現している。	
	主体的に学習に取り組む態度				現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。	
	知識・技能				経済活動と市場、経済主体と経済環境、国民所得と経済成長、物価と景気変動、財政のしくみと役割および租税などの意義、金融のしくみと機能について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。現代日本の経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。経済主体と経済の循環、企業の活動と社会的責任、市場経済の機能と限界、国民所得と経済成長、物価と国民生活、金融および財政のしくみと機能について理解している。	
p. 80～118 現代の資本主義経済 現代経済のしくみ	思考・判断・表現				個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、経済活動と福祉の向上との関連ならびに市場経済の機能と限界、持続可能な財政および租税のあり方、金融を通じた経済活動の活性化について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。企業、市場経済、国民所得、金融、財政などの観点に着目し、現代の経済はどのようなしくみで、どのような課題を抱えているか多面的・多角的に考察し、表現している。	
	主体的に学習に取り組む態度				現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。	
	知識・技能				戦後日本経済の発展と、日本経済、福祉社会と日本経済の課題について理解している。現代日本における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。	
p. 119～171 日本経済の発展と現状 福祉社会と日本経済の課題 現代日本の諸課題	思考・判断・表現				現在の日本経済が抱える課題に着目しながら、戦後の日本経済がどのような変遷をたどってきたか多面的・多角的に考察し、表現している。日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができるか多面的・多角的に考察し、表現している。少子高齢社会における社会保障、地域社会の活性化、多様な働き方・生き方の実現、中小企業の意義と課題、日本財政の健全化、持続可能な食料・農業の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。	
	主体的に学習に取り組む態度				現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。	
	知識・技能	国際社会の変遷、国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、軍縮と紛争防止、日本の国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。貿易の現状と意義、為替レートの変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。国際社会における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。				
p. 172～249 現代の国際政治 現代の国際経済 国際社会の諸課題	思考・判断・表現	個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、国際法の果たす役割および国際平和と人間の福祉に寄与する日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、相互依存関係が深まる国際経済の特質および国際経済において果たすことが求められる日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。グローバル化にともなう社会変容、地球環境と資源・エネルギー問題、国際的な経済格差の是正、イノベーションの促進と成長市場、民族問題と紛争の解決、持続可能な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。				
	主体的に学習に取り組む態度	現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権をになう公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。				